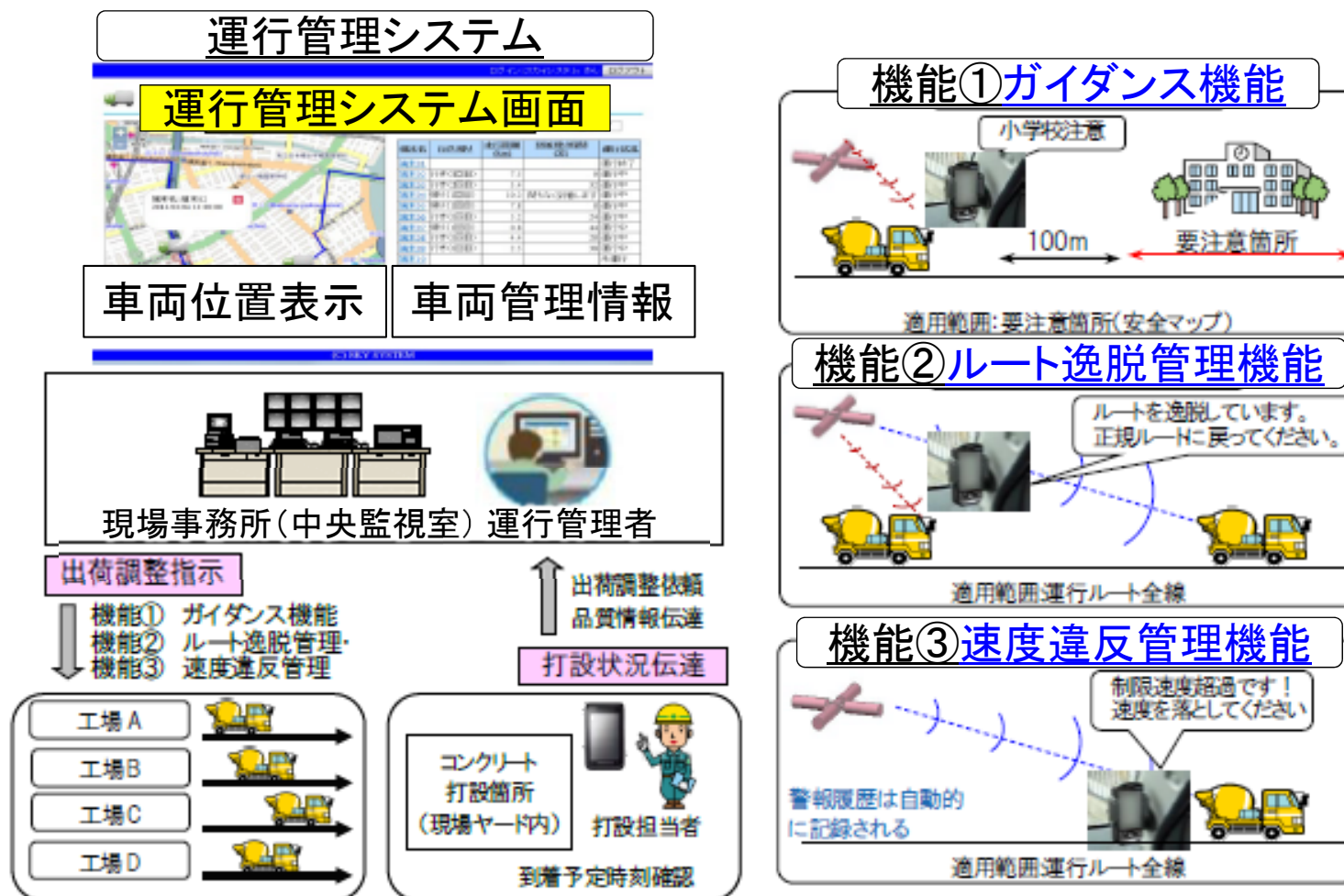


- ・発生土運搬車両やコンクリートミキサー車など運行台数の多い工事用車両に運行管理システムを配備し、安全性を向上させます。



下記の事項を運転者に指導します。

- ・交通法規を厳守した安全運転を徹底。
- ・制限速度を厳守し、定められた場所での一時停止を徹底し、ゆとりを持った運行をすること。
- ・空ぶかし、クラクション、急発進、急ハンドルは慎む。
- ・工事用車両が滞留しないような計画。
- ・定められた積載重量の厳守。



交通法規の遵守

- ・発生土運搬車両には「中央新幹線の工事であること」がわかるように、ステッカーなどを貼り付けて、明示を行います。



標識のダンプ明示状況イメージ
※左右各1枚、前後各1枚 計4枚設置

運行時間帯 8時00分～18時00分

休 工 日 日曜日、その他長期休暇(年末年始等)

- 上記の時間帯は、現地での運行開始・終了の時間です。
- 駐車場所から現地への回送は、上記の時間帯の前後に行う場合があります。
- 通勤通学等の時間帯は、運行台数の調整を行うほか、学校と連携し児童・生徒への周知を行います。
- 工事の進捗状況等により、上記時間帯以外や、上記の日程に運行することがあります。その場合は事前に工事日より等により地元の皆様にお知らせします。
- 地域のイベント等が開催される場合は、運行時間などについて、事前に調整させていただきます。
- コンクリートの打設日は、早朝・夜間を含めてミキサー車が運行します。その場合は事前に工事日より等により地元の皆様にお知らせします。
- 重機や大規模な資材を運搬する特殊車両は、法令の定めにより、21時～6時の時間帯に運行することを考えています。

- ・仮囲いの設置 【写真1】
- ・低騒音、排出ガス対策型建設機械の採用 【写真2】
- ・現場内散水による粉塵の発生抑制
- ・タイヤの洗浄 【写真3】
- ・運転手に対する講習、指導による、急発進、急加速等の禁止の徹底
- ・定期的な建設機械及び車両の点検・整備による性能維持

【対策例】



【写真1】

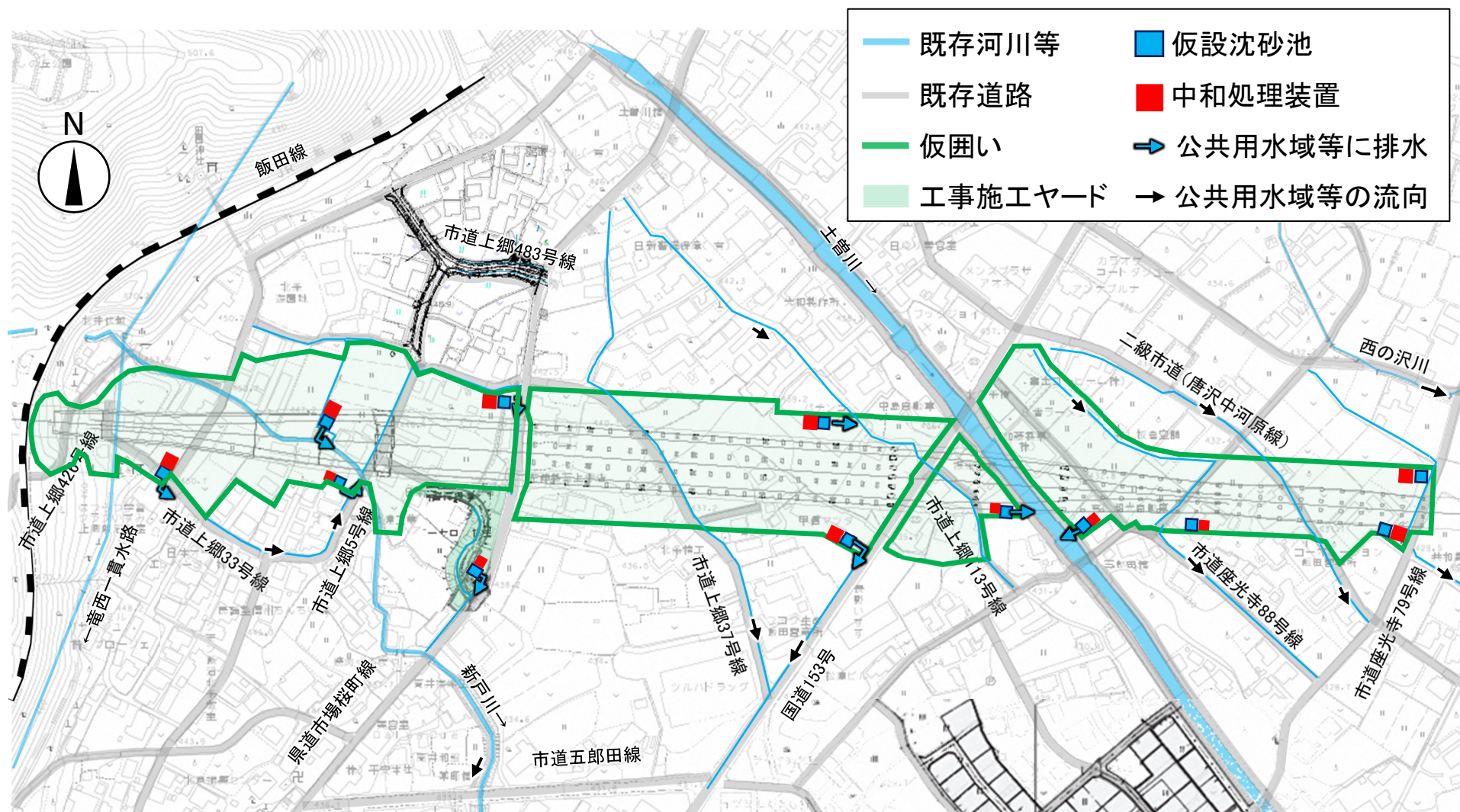


【写真2】



【写真3】

※写真のステッカーは低騒音・排出ガス対策型を示しています。



- ・工事排水及び仮囲い内に降った雨水等は、基本的に仮設沈砂池内で地下へ浸透させます。ただし、大雨時には、仮設沈砂池内で濁りを取り、公共用水域(新戸川・土曾川)へ放流する計画です。
- ・コンクリート打設に伴うアルカリ水等は、中和処理装置でアルカリ分を中和して仮設沈砂池へ放流します。

※仮設沈砂池等の配置箇所については、今後の協議や施工計画等により変更になる場合があります。